

対象学年	1 学年	科目名	ハウスウェディング運営プログラム I	担当名	金原 未季
対象学期	後 期		講義 ・ 演習 ・ 実技 ・ 実習	単位/時間数	4単位 60 時間

到達目標	新郎新婦のニーズを聞き取り、挙式・披露宴などについて詳細な計画を立て。打合せから式当日までトータルプロデュースを行うことを目的とし、この授業では、ハウスウェディング運営の流れを把握し、積極的に行動できるスキルを身につける。
学習内容	本校を卒業後、ウェディングプランナーとして、新規獲得から当日の施行までを、最前線でプロデュースしてきた教員が、生の現場の話題たっぷりに、プロデュース業務の楽しさを伝える授業を実施する。
成績評価の方法と基準	出欠点40点＋定期試験60点 合計点数100点にて成績を算出する 評価 GPA 合計点数 A - 4.0 90点～100点 B - 3.0 80点～89点 C - 2.0 70点～79点 D - 1.0 60点～69点 E - 出席不良 F - 0.0 59点以下(不合格) ※定期試験は筆記試験とする
履修に当たっての留意点	ハウスウェディングマニュアル、ノート、筆記用具を持参すること。

授業回数別教育内容

回数	授業内容(予定)	使用教材	授業以外での準備学習の有無
1	ハウスウェディング運営プログラムについて理解する。 自己紹介	ハウスウェディングマニュアル、ノート、筆記用具、	ハウスウェディングマニュアルを一通り見てくること
2	ハウスウェディングへの運営マニュアルを説明し、ウェディングプロデュースの流れを習得、実際の結婚式をイメージすることができる。	ハウスウェディングマニュアル、ノート、筆記用具	ハウスウェディングマニュアルを一通り見てくること
3	会場常設機材の説明を聞き、会場機材の操作を実践する。	ハウスウェディングマニュアル、ノート、筆記用具	ハウスウェディングマニュアルを一通り見てくること
4	会場規約を読み上げ、規約説明を実践できる。	ハウスウェディングマニュアル、ノート、筆記用具	ハウスウェディングマニュアルを一通り見てくること
5	会場の参考見積もりを理解し、見積もり説明を実践する。	ハウスウェディングマニュアル、ノート、筆記用具	WebサイトやSNSなどで様々なウェディング事例を考察して くること
6	新規獲得と成約業務を説明し、成約業務の重要性を理解しながら成約業務の一部を実践する。	ハウスウェディングマニュアル、ノート、筆記用具	WebサイトやSNSなどで様々なウェディング事例を考察して くること
7	初回打合せを説明し、ヒアリングを実践する。 招待状打合せを説明する。	ハウスウェディングマニュアル、ノート、筆記用具	前回の授業の復習をしてくること どの役割を行いたい気持を固めてくる こと
8	招待状打合せを実践する。 小テストを行うとともに、役割についてのアンケートを実施する。	ハウスウェディングマニュアル、ノート、筆記用具	WebサイトやSNSなどで様々なウェディング事例を考察して くること
9	中間打合せを説明し、手配業務を実践する。①	ハウスウェディングマニュアル、ノート、筆記用具	前回の授業の復習をしてくる こと
10	中間打合せを説明し、手配業務を実践する。②	ハウスウェディングマニュアル、ノート、筆記用具	WebサイトやSNSなどで様々なウェディング事例を考察して くること
11	最終打合せ内容と、当日業務へ繋がるイメージを描きながら、クレームにならないためのポイントを説明する。 ハウスウェディング運営 プログラムのチームメンバー発表。	ハウスウェディングマニュアル、ノート、筆記用具	ハウスウェディングマニュアルを一通り見てくること
12	定期試験範囲を伝える。 目標設定について説明する。 チームに分かれて目標を設定する。	ハウスウェディングマニュアル、ノート、筆記用具	ハウスウェディングマニュアルを一通り見てくること
13	チームに分かれて目標を設定する。 チーム目標を発表する。	ハウスウェディングマニュアル、ノート、筆記用具	ハウスウェディングマニュアルを一通り見てくること
14	与えられたテーマを、コンセプトウェディングとして構築し、チームで発表する。	ハウスウェディングマニュアル、ノート、筆記用具	定期試験学習
15	学んだことを復習し、定期試験を行う	筆記用具	